

オルガよ、おまえも《愛》を知っているのか

地球—涙星—そして地球へ、伝説の未確認飛行物体2772を求めてさまよう、愛と冒険のロマン。



原作/構成/総監督—手塚治虫

製作■市川喜一・明田川進
監督■杉山卓/脚本■手塚治虫・杉山卓

音楽■樋口康雄

東宝・手塚プロ提携作品

製作■株式会社手塚プロダクション

配給■東宝株式会社



アニメーション・ディレクター—中村和子・石黒昇/アート・ディレクター—松本強・伊藤信治/撮影監督—八巻肇

鳥の火の2772

愛のコスモノーン

3月上旬ロードショー

新宿アカデミー

☎(202)0141

鳥の火 2772

愛のコスモゾーン

ゴドー オルガ



原作・構成・総監督：手塚治虫
 プロデューサー：市川喜一
 脚本：本手塚治虫、明田川進、杉山卓
 監督：杉山卓
 アニメーション・ディレクター：中村和子、石黒昇、松本 強、伊藤信治、八巻 肇
 美術：橋口康雄
 撮影監督：橋口康雄
 音楽：橋口康雄

これは、「火の鳥」の〇〇篇の映画化じゃない。作者自らが手がける——オール・アニメーションのオリジナル作品だ。

永遠の生命を持つという火の鳥を狂言廻しに、愛とは何か、生命とは何かという人間にとって根源的なテーマを追求しているこの作品は、78年の8月に市川崑監督によって映画化されているが、今回映画化される「火の鳥」は、日本アニメ界の第一人者で原作者でもある手塚治虫自らが、オール・アニメーションとして映画化、しかも、これまでに発表されている九部にわたる「火の鳥」とは全く独立したオリジナル作品となっているのが特徴である。

マンガ家として出発して以来30年、アニメーションへの夢を持ちつづけて、現実にも数多くの素晴らしいアニメーション作品を手がけてきた手塚治虫が、その持てる才能と精力の全てを賭けて製作する「火の鳥2772 愛のコスモゾーン」。いままたひとつ、手塚治虫の神話が生まれようとしている。



地球—涙星—そして地球へ伝説の火の鳥を求めてさまよう愛と冒険のロマン！

地球は統一された地球連邦のもとに、極度に合理化された社会機構に統制されていた。人口過剰を防止するために、限られた人間の将来の仕事の役割に応じて専門教育がほどこされていた。宇宙ハンターとして生まれたゴドーもそのひとり。育児ロボットオルガに育てられて成人し、宇宙ハンターになるべく訓練を受けていた。その頃、政治センター当局のメンバーで超人的なIQを持つロック長官は、その立場から、地球が危機的状況にあることを知り、万一の場合に備えて自分だけは生命をまっとうしたいと考えていた。宇宙ハンターとして訓練されたゴドーに、不老不死の力を持つ体液を内包しているといわれる未確認宇

宙物体2772の宇宙鳥を捕まえに行くと秘密命令を出したのも、そのためであった。命令を受けたゴドーは、しかし、ロックの許婚である美しい娘・レナと恋愛事件を起し、労働キャンプへと追放されてしまった！！

強制労働の日々を送るゴドー。ある日、彼はそこで、サルタと呼ばれる奇妙な老人に出逢った。大学者のサルタもまた政府に批判的な言動をしたかどで、追放の身となっていたのである。

意気投合し、脱走計画を練るゴドーとサルタ。闇夜に乗じて宇宙船スペース・シャーク号を奪い取り、追ってきた追撃隊と血みどろの大空中戦の末、オルガに助けられて見事脱出に成功！！

はるか宇宙へと飛び立って行った。地球—涙星、そしてさらにそのはるか彼方へ、長い航海の末に三人はようやくと宇宙鳥を発見、大喜びするゴドー、オルガ、そしてサルタ。しかし、宇宙鳥は、彼らが想像もしなかった恐ろしい力を持つ「怪鳥」であった。宇宙鳥との血みどろな闘いが始まる——！！

「火の鳥2772」はアニメの可能性に挑戦する新しい試みでイッパイだ。

アニメーションほど、自由で秀れた映像表現のできるメディアはない。そこでは、生身の人間や実在のモノを映しとることしかできない劇映画の制約をはるかに超えた、想像力に溢れる素晴らしい映像世界を作り出すことが可能である。そのうえに、最新最高の技術を導入し、これまでのアニメーションの限界さえ打ち破ろうとするならば、これから生まれてくる映像の凄さ、新鮮さに期待しないではいられない。「火の鳥2772 愛のコスモゾーン」は、そんな期待に応えようとする新しい試みがいっぱいの作品である。

実写の動きをそのままアニメ化するロートスコップ技法を、スペース・シャーク号などのメカの特撮にまで応用したもの、コンピュータに連動した撮影機のカメラ・ワークでアニメーションするスリット・スクリーン技法を、タイトルだけに限って使われていたこれまでの範囲を越えて、人物の動きにまで応用したもの等々。その他、技術だけではなく、アニメーション・ディレクターの設置、キャラクター・システムの導入など、最高のフル・アニメ作品を製作するために、製作進行上の新しいシステムを取り入れているのである。

もう、これ以上のアニメーション映画は作れないと言っても過言ではないだろう。

メカニカルデザイン：勝井千賀雄、御厨さと美、設定：御厨さと美、原画：松谷 孝征、三輪 孝輝、高橋 信也、正延 宏三、白川 忠志、小林 準治、鈴木 伸一、西村 宏、プロダクションマネージャー：山川 紀生、制作担当：山川 紀生、編集：明田川 雅士、音響監督：古川 雅士、録音監督：宮本 隆、効果音監督：原 満、監督：手塚 治虫、脚本：本手塚 治虫、杉山 卓、市川 喜一、原作：手塚 治虫



ロック



レナ



ブラック・ジャック



サルタ